

# 取引説明書(LION FXのお客様用)対比表

平成30年5月21日  
(青字部分は追加、青字部分は削除箇所)

現 行	変 更 後
<p>19. 注文方法</p> <p>18. 注文の種類組み合わせ、時間指定等による注文方法は、以下のとおりです。なお、レート等を指定する場合については、20. 指値・逆指値指定不可の範囲をご確認ください。注文の失効については、21. 注文の失効をご確認ください。</p> <p>(1) トレール注文～ (6) ASK判定売逆指値注文 省略</p> <p>(7) トリガー注文</p> <p>条件（提示レートが指定したレート（トリガー価格）に達した時点）を満たすまでは、発注した注文を待機中（無効）とし、条件を満たした時点で注文中（有効）に変更したい場合に使用する注文方法です。新規は、指値注文、逆指値注文から選ぶことができます。決済は、指値注文、逆指値注文、トレール注文から選ぶことができます。新規注文の場合、トリガー価格、レートまたは提示レートとのレート差、通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別、期限を指定して発注します。決済を指値注文または逆指値注文とした場合、決済対象を選んで、レート、提示レートまたは決済対象の約定レートとのレート差、決済対象の約定レートから算出した予想損益のうちのいずれか1つ、数量、期限を指定して発注します。決済をトレール注文とした場合、トリガー価格、トレール幅、数量、期限を指定して発注します。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (2) 指値注文、(4) 逆指値注文、上記 (1) トレール注文をご参照ください。</p>	<p>19. 注文方法</p> <p>18. 注文の種類組み合わせ、時間指定等による注文方法は、以下のとおりです。なお、レート等を指定する場合については、20. 指値・逆指値指定不可の範囲をご確認ください。注文の失効については、21. 注文の失効をご確認ください。</p> <p>(1) トレール注文～ (6) ASK判定売逆指値注文 省略</p> <p>(7) トリガー注文</p> <p>条件（提示レートが指定したレート（トリガー価格）に達した時点）を満たすまでは、発注した注文を待機中（無効）とし、条件を満たした時点で注文中（有効）に変更したい場合に使用する注文方法です。新規は、指値注文、逆指値注文から選ぶことができます。決済は、指値注文、逆指値注文、トレール注文から選ぶことができます。新規注文の場合、トリガー価格、レートまたは提示レートとのレート差、通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別、期限を指定して発注します。決済を指値注文または逆指値注文とした場合、決済対象を選んで、<b>トリガー価格</b>、レート、提示レートまたは決済対象の約定レートとのレート差、決済対象の約定レートから算出した予想損益のうちのいずれか1つ、数量、期限を指定して発注します。決済をトレール注文とした場合、トリガー価格、トレール幅、数量、期限を指定して発注します。注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (2) 指値注文、(4) 逆指値注文、上記 (1) トレール注文をご参照ください。</p> <p>(8) 他通貨トリガー注文</p> <p>他通貨トリガー注文とは、実際に取引する通貨ペア（以下、「取引通貨ペア」といいます。）とは異なる通貨ペア（以下、「トリガー監視通貨ペア」といいます。）でレートを指定し、指定レート（以下、「トリガー価格」といいます。）に達したら、取引通貨ペアで成行注文を執行する注文方法です。注文時には、トリガー監視通貨ペア、<b>BIDまたはASK</b>とそのトリガー価格を指定し、取引通貨ペア、数量、売買の別、両建ありなしの別、期限を指定して発注します。なお、取引通貨ペアは、<b>50通貨ペア</b>すべてから指定することが可能ですが、トリガー監視通貨ペアは、<b>以下10通貨ペアのみ</b>指定が可能です。</p> <p><b>USD/JPY、EUR/JPY、GBP/JPY、AUD/JPY、NZD/JPY、EUR/USD、GBP/USD、AUD/USD、NZD/USD、EUR/GBP</b></p> <p>上記のように取引通貨ペアと異なる通貨ペアでレートを指定する</p>

<p>(8) IF-DONE (イフダン) 注文～(18) 条件指定全決済 項番繰り下げ</p>	<p>という注文方法のため、通貨ペア間の相対関係は、必ずしも一致するものではなく、相場急変時やスプレッド拡大時等に想定外にトリガー価格に達してしまう場合や、想定通りにトリガー価格に達した場合でも、取引通貨ペアで流動性が低い場合や有効なレートがない場合に約定しない、また想定外の約定となる可能性があります。特に取引通貨ペアにマイナー通貨ペアを指定した場合には、ご注意ください。成行注文の執行等の詳細については、18. 注文の種類 (1) 成行注文をご参照ください。なお、ポジションを指定する決済注文では利用できません。</p> <p>(9) IF-DONE (イフダン) 注文～(19) 条件指定全決済 項番繰り下げ</p>
<p>20. 指値・逆指値指定不可の範囲</p> <p>レート、レート差、pip差、トレール幅を指定するにあたっては、別表1をご確認ください。レートを指定する場合、売りの指値注文および買いの逆指値注文の場合、提示レートから「指値・逆指値指定不可の範囲」の数値以上離れた高いレートを指定してください。買いの指値注文および売りの逆指値注文の場合、提示レートから「指値・逆指値指定不可の範囲」の数値以上離れた低いレートを指定してください。レート差、pip差、トレール幅を指定する場合、「指値・逆指値指定不可の範囲」の数値以上の値を指定してください。なお、1pip=通貨ペアの最小変動単位となります。</p>	<p>20. 指値・逆指値指定不可の範囲</p> <p>レート、レート差、pip差、トレール幅、トリガー価格を指定するにあたっては、別表1をご確認ください。<del>レートを指定する場合、</del></p> <p>(1) レートの指定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売りの指値注文および買いの逆指値注文の場合、提示レートから「指値・逆指値指定不可の範囲」の数値以上離れた高いレートを指定してください。</li> <li>・買いの指値注文および売りの逆指値注文の場合、提示レートから「指値・逆指値指定不可の範囲」の数値以上離れた低いレートを指定してください。</li> </ul> <p><del>レート差、pip差、トレール幅を指定する場合、</del></p> <p>(2) レート差、pip差、トレール幅の指定</p> <p>「指値・逆指値指定不可の範囲」の数値以上の値を指定してください。なお、1pip=通貨ペアの最小変動単位となります。</p> <p>(3) トリガー価格の指定</p> <p>提示レートから「指値・逆指値指定不可の範囲」の数値以上離れた価格を指定してください。</p>
<p>平成 30 年 3 月 19 日現在</p>	<p>平成 30 年 5 月 21 日</p>